

ガイドラインの厳格化により約5,900件の広告配信を停止

～ アドフラウド（不正広告）撲滅に向けて広告配信ガイドラインを改定 ～

ヤフー株式会社（以下、Yahoo! JAPAN）は、アドフラウド（不正広告）撲滅に向けて、2018年10月25日に[広告配信ガイドライン](#)を改定し、2019年3月31日までの期間において、改定後のガイドラインに抵触する約5,900件（※1）の広告配信を停止しました。

Yahoo! JAPANは、不正に広告費をだまし取る手法「アドフラウド」への対策として、2018年9月21日からYahoo! JAPANとYahoo!ニュースなどすでに直接契約があり、安全性が確認できているサイトを除いた、広告配信面の一部（約6,800件※2）を停止しました。その後、2018年10月25日にガイドラインの改定、再審査を経て新ガイドラインを満たした約900件の広告配信を再開しました。結果、約5,900件の広告配信を停止しました。

< 改定後のガイドラインに抵触したサイトの一例 >

- ・ 掲示板サイトの情報をまとめたサイト（まとめサイト）
- ・ 個人運営のゲームなどの攻略サイト

など

また、Yahoo! JAPANは「日本インタラクティブ広告協会（JIAA）」や、米国「The IAB Technology Laboratory（IAB Tech Lab）」などの外部団体に加盟・連携し、ガイドライン策定、調査研究、普及啓発などの活動をすることで、ネット広告業界全体の不正対策の強化に取り組んでいます。

Yahoo! JAPANは今後とも、広告配信面の審査・パトロールの強化、サイト運営者確認の厳格化など、不正排除と検知精度向上に取り組んでまいります。

※1：ドメイン数。同じサイトでもパソコンとスマートフォンに配信していた場合、2件とカウントされます。

※2：全広告配信ドメイン数は、約17,000件です。

・ ご参考：

■ [不正に広告費をだまし取る手法「アドフラウド」対策の強化について](#)（2018年9月20日）

■ [広告配信に関わるガイドライン改定のお知らせ](#)（2018年10月22日）